

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



平成27年11月30日

No. 15 - 278

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

愛媛県内民間企業の冬季ボーナス支給見込みアンケート結果のお知らせ
～冬のボーナスは2年ぶりに前年を上回る～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 山崎 正人）では、このたび別紙のとおり、愛媛県内民間企業の冬季ボーナス支給見込みアンケート結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

以上

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 **伊予銀行** 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

冬のボーナスは2年ぶりに前年上回る

- 2015年冬季 県内民間企業ボーナス支給見込みアンケート結果 -

1. この冬の県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は、前年を1.7%上回る40万1千円となった。
2. 県内民間企業の支給見込み総額は、支給対象人員が減少したものの、1人当たり支給見込み額が前年比1.7%増となったため、前年比1.5%増の約1,223億円となった。
3. 1人当たり支給見込み額の部門別の前年比増減率をみると、製造業は前年比6.6%増と2年連続プラスとなり、非製造業は同0.2%増と2年ぶりにプラスとなった。

わが国経済は、消費税率引き上げの影響は一巡したものの、個人消費の回復の鈍さや海外経済の減速を受けて、回復ペースは緩やかなものとなっています。一方、企業収益は改善し、雇用・所得環境も改善が続いています。

県内経済についても、個人消費は消費税率引き上げ後の落ち込みからは脱するも、相次ぐ食料品などの値上げによる節約意識の強まりもあって、力強さを欠いています。生産活動は一進一退の動きとなるも、需給のひっ迫もあって雇用情勢は好調を維持しており、全体としては緩やかに回復しています。

こうしたなか弊社では、今冬の県内民間企業のボーナス支給動向を把握するため、10月下旬にアンケートを実施しました。この度、その結果がまとまりましたのでご報告します。

調査要領	調査対象	愛媛県内に事業所を置く民間企業	779社
	調査方法	郵送によるアンケート方式	
	調査時期	2015年10月下旬	
	回答状況	有効回答企業数	332社
		有効回答率	42.6%

1	<p>県内民間企業従業員 1 人当たり支給見込み額 ～ 40 万 1 千円、前年比 1.7% 増加～</p>
---	--

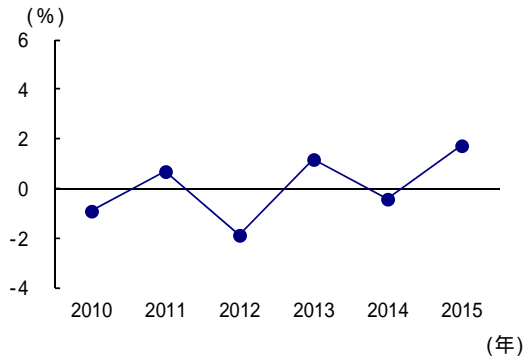
アンケート結果および経済センサスに基づき、県内民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給見込み額（税込み、以下同じ）を推計した結果、前年比 1.7% 増の 40 万 1 千円となった。

なお、全国の民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給予想額は、三菱UFJリサーチ & コンサルティングでは前年比 2.1% 減の 36 万 7 千円、第一生命経済研究所では同 1.5% 減の 37 万円、みずほ総合研究所では同 1.8% 減の 36 万 9 千円となっている。

図表 - 1 県内民間企業冬のボーナス従業員 1 人当たり支給見込み額前年比増減率の推移
（アンケート回答企業、修正後）

(単位：%)

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015
前年比	0.9	0.7	1.9	1.2	0.4	1.7



2	<p>県内民間企業の支給見込み総額 ～ 約 1,223 億円、前年比 1.5% 増～</p>
---	--

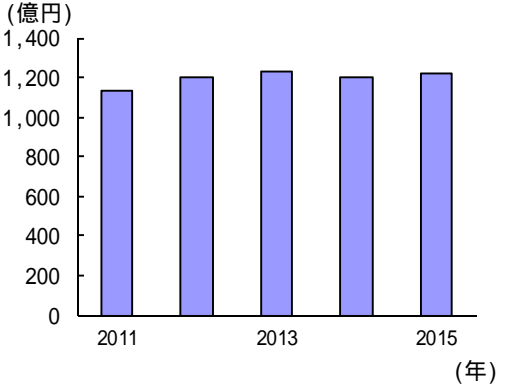
アンケート結果および毎月勤労統計調査等に基づき、県内民間企業のボーナス支給見込み総額を推計すると、支給対象人員が 0.2% 減少したものの、1 人当たり支給見込み額は前年比 1.7% 増となったため、前年比 1.5% 増の約 1,223 億円となった。

図表 - 2 県内民間企業冬のボーナス支給総額の推移（推計）

(単位：億円、%)

年	2011	2012	2013	2014	2015
支給総額	1,137	1,200	1,226	1,205	1,223
前年比	5.2	5.6	2.2	1.7	1.5

（注）2015年は見込み。



3	部門別・業種別動向 ~ 製造業、非製造業ともに増加 ~
----------	---------------------------------------

県内民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給見込み額（修正後）を部門別にみると、製造業は前年比 6.6% 増の 52 万 2 千円、非製造業は同 0.2% 増の 37 万 3 千円となった。

製造業は 2 年連続のプラスで、「機械・金属」（前年比 8.6% 増）、「食料品」（同 5.6% 増）など、全業種で前年を上回った。

非製造業は 2 年ぶりのプラスとなったが、明暗が分かれた。消費税率引き上げによる落ち込みから脱しつつある「小売」（同 3.4% 増）が前年を上回った一方で、「卸売」（同 1.3% 減）、「サービス」（同 1.3% 減）は前年を下回った。

なお、支給月数は全業種平均で前年比 0.05 ヶ月増の 1.73 ヶ月となった。

図表 - 3 業種別の増減
 （従業員 1 人当たり支給見込み額の増減率）

（単位：％）

増減	製造業	非製造業	
増加	機械・金属	8.6	
	食料品	5.6	
	繊維	4.3	
	紙・パルプ	4.3	
	印刷	3.3	
	化学・石油	2.8	
	木材・木製品	2.6	
減少		建設	0.0
		卸売	1.3
		サービス	1.3

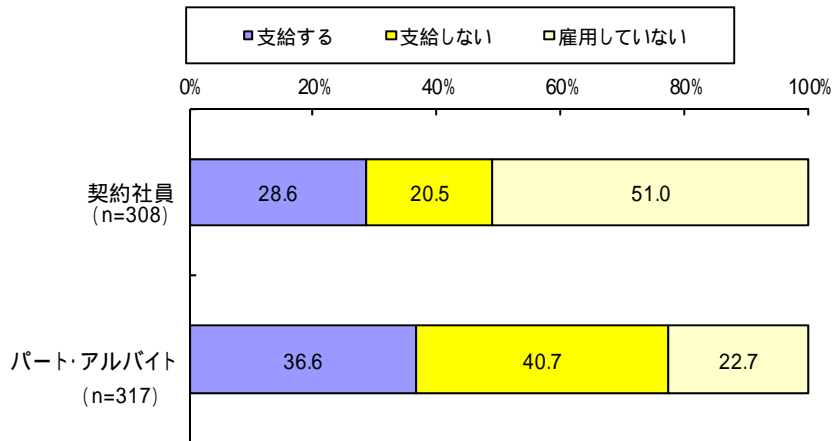
（注）アンケート回答企業、業種別従業員 1 人当たり支給見込み額等の詳細は図表 - 5 参照。

4

正社員以外へのボーナス支給動向について
 ~ 契約社員には3割弱、
 パート・アルバイトには3割強が「支給する」~

正社員以外へのボーナス支給動向について尋ねたところ、契約社員に「支給する」と回答した企業は28.6%、パート・アルバイトに「支給する」とした企業は36.6%となった。契約社員、パート・アルバイトを雇用している企業だけで見れば、契約社員に「支給する」企業は58.3%、パート・アルバイトに「支給する」企業は47.3%であった。今冬の正社員へのボーナス増が正社員以外にも波及すれば、県内の個人消費の押し上げにつながると期待される。

図表-4 正社員以外へのボーナス支給動向



(注) 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

まとめ

以上のように、この冬の県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は、2年ぶりに前年を上回った。全国の景気は、足踏み感はあるが緩やかな回復基調が続いており、県内景気も概ね同様の動きとなっている。雇用情勢は引き続き好調な推移が見込まれ、所得環境の改善に期待がかかるものの、海外経済の減速や不安定な金融市場などから、景気下振れの懸念もあり、先行きには不透明感が残る。

なお、最後になりましたが、本調査にあたり、数多くの企業の方々にご協力をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

(株)いよぎん地域経済研究センター

担当：國遠 知可

TEL:(089)931-9705

(内線)8423

図表 - 5 2015年冬の業種別ボーナス支給見込み額（IRCアンケート結果より）

（単位：千円、%、カ月、歳）

業種	項目	1人当たり支給額			増減率 対2014年冬	支給月数			平均 年齢
		2014年冬	2015年夏	2015年冬		2014年冬	2015年夏	2015年冬	
製造業	食料品	488	462	516	5.6	1.77	1.64	1.83	36.9
	繊維	289	309	301	4.3	1.34	1.43	1.39	42.9
	木材・木製品	213	207	219	2.6	1.00	1.00	1.06	41.4
	紙・パルプ	564	581	588	4.3	1.91	1.96	1.98	39.1
	印刷	273	292	282	3.3	1.00	1.06	1.03	41.4
	化学・石油	718	720	739	2.8	2.86	2.85	2.91	36.2
	機械・金属	567	620	616	8.6	1.83	1.99	1.96	39.4
	その他製造	343	369	372	8.5	1.39	1.41	1.47	43.9
	製造業計	489	510	522	6.6	1.93	1.96	2.02	38.5
非製造業	建設	282	266	282	0.0	0.95	0.91	0.95	44.0
	卸売	481	468	474	1.3	1.61	1.56	1.58	41.4
	小売	394	404	407	3.4	1.57	1.59	1.60	38.7
	運輸	339	328	347	2.2	1.24	1.18	1.27	43.5
	サービス	367	327	362	1.3	1.35	1.20	1.32	40.3
	非製造業計	372	351	373	0.2	1.38	1.30	1.38	41.1
全産業	394	381	401	1.7	1.68	1.66	1.73	39.7	

- （注）1．1人当たり支給額は税込み支給額を平均した。
 2．太字は従業員数の業種別構成実態に合わせて加重平均により修正を行った。
 3．2015年冬は見込み。